

## 難病を克服し、心身共に充実。 今こそ私は再び立ち上がる。

3.11の東日本大震災は、今を生きる私たちにとって悲しい出来事でした。しかし、この経験を通じて、私たちがなすべきことは何か? 守るべきものは何か?を今一度、考え直す契機ともなりました。

尖閣諸島をはじめとする領土に関わる問題、デフレが長引く危機的経済状況等、未曾有の国難ともいえるべき、まさに“待たなしの緊急事態”です。

安倍内閣では財政問題はもとより、教育制度改革や公務員制度改革、防衛省昇格など、具体的に国家の根幹に関わる政策を一つひとつ丁寧に実現してきました。成長戦略により、この10年間で、名目GDP、税収、株価が最も高かったのが安倍内閣時でした。

任期途中で総理を辞任したこと等へのご批判は真摯に受け止めつつ、「今こそ国民の心をひとつにし、この国難との闘いの先頭に立つべき」と考えるに至り、今回の総裁選の立候補を決断したのです。

強い信念と強力なリーダーシップを発揮し、全力で国民のくらし満足度向上を図ります。

安倍晋三

# 日本再起。

強い日本で、新しい「日本の朝」へ

あべしんぞう  
安倍晋三

日本再起  
のために

あべしんぞう  
安倍晋三

# 6つの全力!

**一日も早いデフレ脱却と成長力の底上げで所得向上、雇用の創出に全力**

「日本経済再生本部」を創設し、国内の英知を結集、強力な成長戦略を推進

東日本大震災の被災地域復興の促進

若者、女性、高齢者の雇用の創出

脱原発依存。「新エネルギー戦略」へのチャレンジ他

**日本の誇り 憲法改正・教育再生に全力**

教育委員会制度や教科書検定・採択制度の見直し

基礎学力の向上、高等教育の国際化

教員組合活動の適正化 他

**外交・総合安全保障の確立に全力**

日米同盟をより強固に。自らが自らの国を守る体制づくり

集団的自衛権の行使を可能に。日本版NSC(国家安全保障会議)の創設

北朝鮮による拉致問題、核・ミサイル問題の早期解決 他

**自主の志・強固な国づくり**

官邸機能強化と道州制を前提とした地方分権の推進

国民の信頼、期待に応え得る国会改革、公務員制度を含む行政改革

など、国家統治機構改革の大幅な見直し

大震災等、非常事態に対応した「国家緊急事態体制」の整備 日本版FEMA(フイーマ)創設 他

**自助・自立を基本に、「助け合い」「思いやり」等を**

**大切にしている社会保障制度の確立に全力**

若者・子育て支援、障害者・弱者支援システムの確立

少子高齢化に対応した年金、医療、介護の改革、自立を前提とした生活保護

制度の見直し 他

**元気なふるさと、活力あふれる地域づくりに全力**

「攻めの農林水産業」の推進

国民の安全と地域競争力の強化に資する未来への投資としての新公共

事業の推進

EPA、FTAの推進。TPPの「聖域なき関税撤廃」反対 他

# 安倍晋三総理大臣を求める 民間人有志による緊急声明 (一部抜粋)

ご承知のように、今、わが国は内外の脅威にさらされ、幕末と同様の国家的危機にある。

これを乗り越えるには、安倍晋三総理大臣の再登板しかない。

この強い想いを安倍晋三氏に託すと共に、

私たちの心からの叫びを自民党の皆さんに届けたい。

## 1 戦後最悪の国難を打開するには、安倍晋三氏再登板しかない

日に日に過激さを増す周辺諸国の挑発外交に歯止めをかけながら日本の国益を追求するという、強さとしたたかさ、そしてバランス感覚を兼ね備えた外交をできる人物は、安倍晋三氏しかいない。

## 2 今、首相経験者こそが求められている

民主党政権の3年間にわたる「素人政治主導」により混迷する国政をすみやかに回復できる人物は、首相として短期間ながら多くの実績を残した安倍晋三氏をおいてない。

## 3 その場しのぎでない、足元の揺るがぬ政治を!

今こそ古い政治に決別し、明確な国家観に基づいた新しい政治を行うべき時に来ている。前回の政権時「戦後レジームからの脱却」を掲げ、この場当たり政治への決別に挑戦した安倍晋三氏が、再度手腕を発揮すべきだ。

## 4 政界再編の旗頭として

「平成の保守再編」の旗頭となりうる人物は、安倍晋三氏をおいてほかにない。

## 5 終わりに、あえて安倍晋三氏に申し上げたい

参議院選挙での大敗、そしてその後の総理辞任に対する自責の念にもとづく5年にわたる安倍晋三氏の言い訳をしない言動は、潔くはあった。しかし、辞任の原因となった難病も、新薬により克服され、万全の体調であると聞く。国難の今、最早過去にこだわっているべき時は過ぎた。日本の国力がこれ以上損耗する前に、一刻も早い再登板が是非とも必要だ。今こそ国家国民のために、堂々と再起を宣言されることを、強く願うものである。

代表発起人 三宅 久之 (政治評論家)

発起人 (順不同) 中西 輝政 (京都大学名誉教授)  
金 美齢 (評論家)  
津川 雅彦 (俳優)  
奥田 瑛二 (俳優)  
山本 學 (俳優)  
屋山 太郎 (政治評論家)  
すぎやま こういち (作曲家)  
板垣 正 (日本遺族会顧問・元参議院議員)  
大原 康男 (國學院大学教授)

岡崎 久彦 (外交評論家・元駐タイ大使)  
小田村 四郎 (元拓殖大学総長)  
加瀬 英明 (外交評論家)  
日下 公人 (評論家)  
小林 正 (教育評論家・元参議院議員)  
小堀 桂一郎 (東京大学名誉教授)  
佐々 淳行 (評論家・初代内閣安全保障室長)  
石平 (評論家)  
竹本 忠雄 (筑波大学名誉教授)

田母神 俊雄 (軍事評論家・元航空幕僚長)  
鳥居 泰彦 (交詢社理事長・元慶應義塾長)  
西 鋭夫 (スタンフォード大学フーヴァー研究所教授)  
長谷川 三千子 (埼玉大学名誉教授)  
百田 尚樹 (放送作家・小説家)  
平川 祐弘 (東京大学名誉教授)  
福田 逸 (明治大学教授・現代演劇協会理事長)  
百地 章 (日本大学教授)  
渡部 昇一 (上智大学名誉教授)

自民党政権奪還のチャンス。その前に、

# 安倍総裁誕生で 自民党再起動。

“自民党政権に戻って良かった!” と心の底から思われる自民党に。